

館山市の

家計簿

～ 平成25年度 当初予算版 ～

市の予算や今年取組む
主な事業について
分かりやすく説明します



・・・ 目次 ・・・

予算の決め方	3 P
予算の種類や規模	4 P
収入の種類と金額	7 P
支出の種類と金額	11 P
予算を家計に例えると	14 P
市の借金と貯金	15 P
各種財政指標	17 P
行財政改革とは	20 P
主な事業とかかる費用	23 P



『館山市の家計簿』発行にあたり

この『館山市の家計簿』は，平成 22 年度当初予算から，多くの市民の方々に「館山市の財政状況」や「税金の使われ方」について理解を深めてもらいたいという思いから作成しています。

このなかには，「市民生活に関わりの深い事業について，どのぐらいの費用がかかるのか」「今年度，新たにどんな事業に取り組むのか」などを紹介しています。

市の行政サービスを充実したいことは，たくさんあります。しかし，国・地方とも，長引く景気低迷や，高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増大，生産年齢人口の減少による地域経済の活力低下など，非常に厳しい財政状況にあり，限られた財源のなかで，より効率的な行政サービスを提供することが求められています。

“効率的な行政サービスを提供するためにはどうすれば良いのか”を議論するためにも，市民の皆さまに，まずは現状の税金の使われ方や財政状況を理解していただき，今まで以上に市政に関心をもってもらえるよう，この『館山市の家計簿』がその一助となればと思います。

「ここがわかりにくい」「この分野をもっと知りたい」など，たくさんのご意見やご質問をいただくと次回以降の改善に大きく役立ちますので，皆さまからのご意見をお待ちしております。

平成 25 年 4 月

館山市長 金丸 謙一



1 予算とは？ どうやって決めるの？

基礎知識編

❓ 予算とは何ですか？

A 館山市に1年間（4月から翌年の3月まで）に入ってくる収入を見積もり，その使い道を決めるのが予算です。皆さまが納めた税金などが，どのような事業にどれくらい使われるのかを示した計画書を予算書と言います。

❓ 予算は、どうやって決めていくの？

A 市長が予算案をつくり市議会へ提出し，市議会の審議と議決によって予算が成立します。

[予算作成スケジュール]

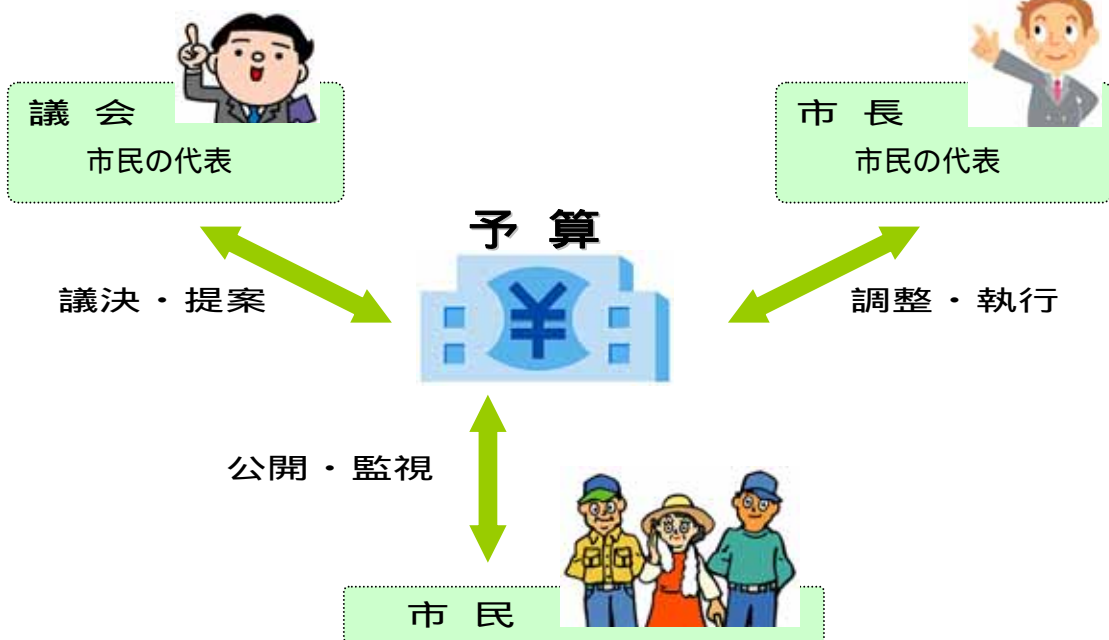
【9月】市長は市役所内の各部署へ，予算編成方針（来年度の行政サービスの方向性）を指示

【9～11月】市役所の各部署は，市民の皆さまからの意見・要望等を踏まえ1年間の行政サービスを検討

【11～1月】市長は，各部署からの予算要望を予算案としてまとめる

【2月】市議会へ予算案を提出

【2～3月】市議会による審議 議決により決定



2 予算の種類や規模について

? どんな予算があるの？

A 予算は、どの収入がどんなことに使われるか、収入と支出の関係をはっきりさせるため、一般会計と特別会計に区分しています。



用語解説

一般会計

教育、福祉、道路整備など市の基本的な行政サービスを行う会計（予算の中心）です。

特別会計

国民健康保険税や下水道使用料など、特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計です。

? 特別会計の中身を教えて？

A 館山市では、以下4つの特別会計があります。



国民健康保険会計

国民健康保険加入者の疾病、負傷、出産などの費用の一部を負担します。加入者の皆さまの国民健康保険税などを財源としています。

後期高齢者医療会計

後期高齢者医療制度に基づき、保険料の徴収・届出受付などの事務を行っています。保険料の賦課・医療の費用負担などは、千葉県後期高齢者医療広域連合が行っています。

介護保険会計

介護を必要とする人へ、各種介護サービスを行っています。介護保険料と国・県・市の負担金で運営されています。

下水道事業会計

下水道使用料、受益者負担金及び一般会計からの繰入金などを財源とし、鏡ヶ浦クリーンセンターの維持管理、下水管の整備などを行っています。

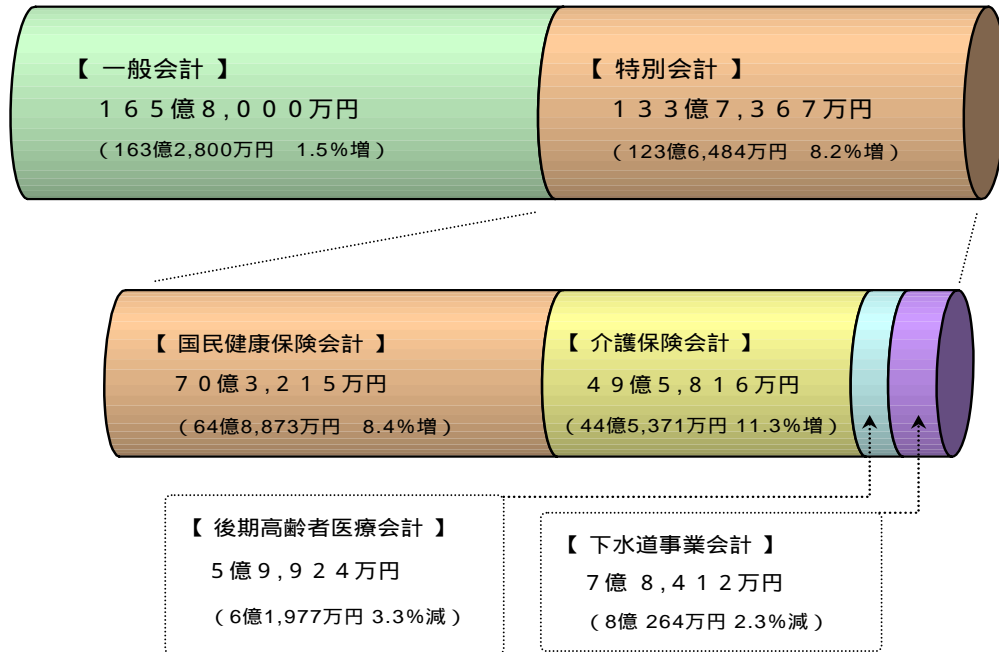


❓ 平成 25 年度の予算規模は？

- A 一般会計と特別会計合わせて、299億5,367万円になります。
(前年比12億6,083万円 4.4%増)

会計別の予算額は、以下のとおりです。

()内は前年度予算額及び増減比率



❓ ここ数年の予算額の推移は、どうなっているの？

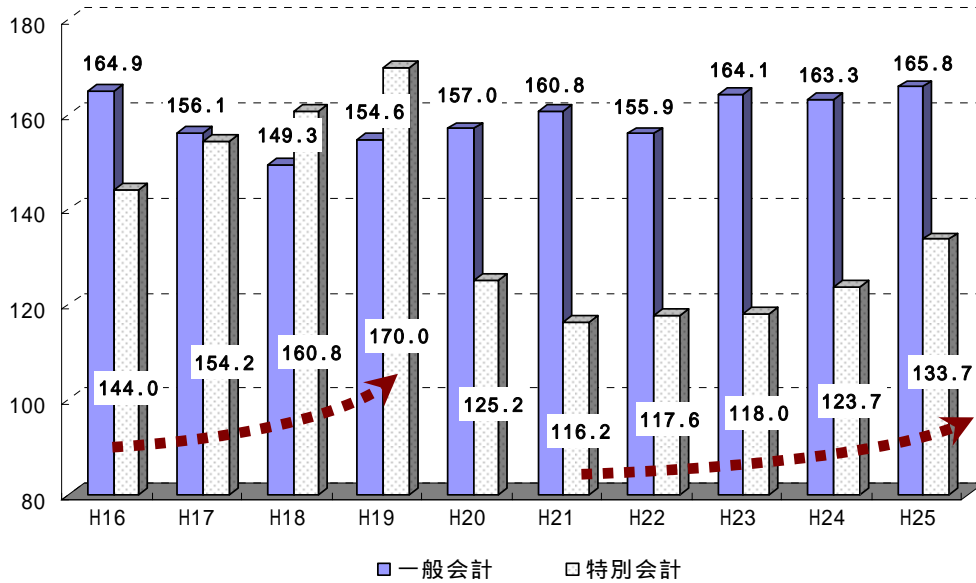
- A 過去10年間における当初予算額は、次ページのとおりです。

特徴として、一般会計予算は150億円～165億円の間で毎年増減を繰り返しながら推移しています。平成25年度一般会計予算は、近年の経済情勢の悪化や高齢化の進行により、生活保護・障害介護関連経費などの社会福祉関連経費の支出が大幅に増加する見込みのため、過去10年間での最大の予算規模となっております。

また、特別会計予算は平成16～19年度、平成21～25年度と右肩上がりで増額しています。これは、高齢化の進行などによる医療費や介護サービス費の増額によるものです。(平成20年度は、老人保健制度から後期高齢者医療制度への制度改正により大幅減額となっております。)

当初予算規模の推移（過去10年間）

単位（億円）



他の市と予算規模を比べると、 多いの？ 少ないの？



A 予算の規模は、おおよそ人口に比例します。住む人が多くなると、多くの税収が入るとともに、かかる行政サービス費用も増えるためです。よって、他市の状況との比較を行う場合には、人口規模が同程度の団体と比較することが必要となります。

以下の図は、県内類似団体や近隣市と市民一人当たりの予算額を比べたものです。

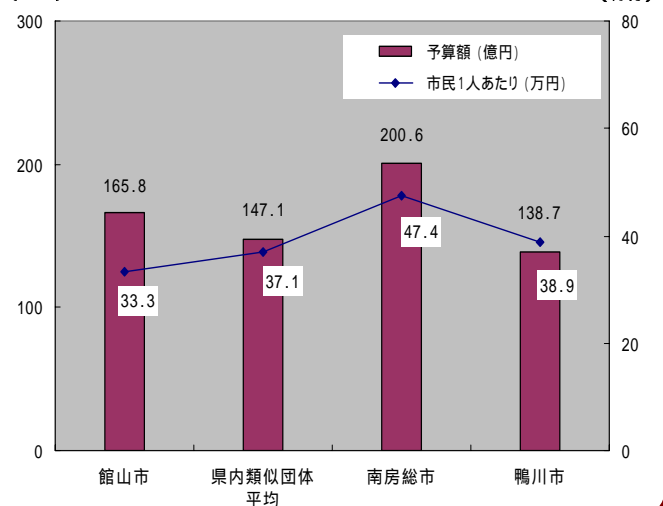
類似団体

国の統計区分で、市町村を人口規模や産業構造により細分化して分類したものです。館山市と同じ分類は、県内で勝浦・鴨川・富津・富里・南房総・いすみ・匝瑳の7団体です。

市民1人あたりの予算額は、館山市が一番少ないことがわかります。南房総市や鴨川市は、市町村合併により地方交付税や特例債などの収入が、館山市よりも多いため、より多くの予算を使うことができます。



(億円) 一般会計予算額と市民1人あたり予算額の比較

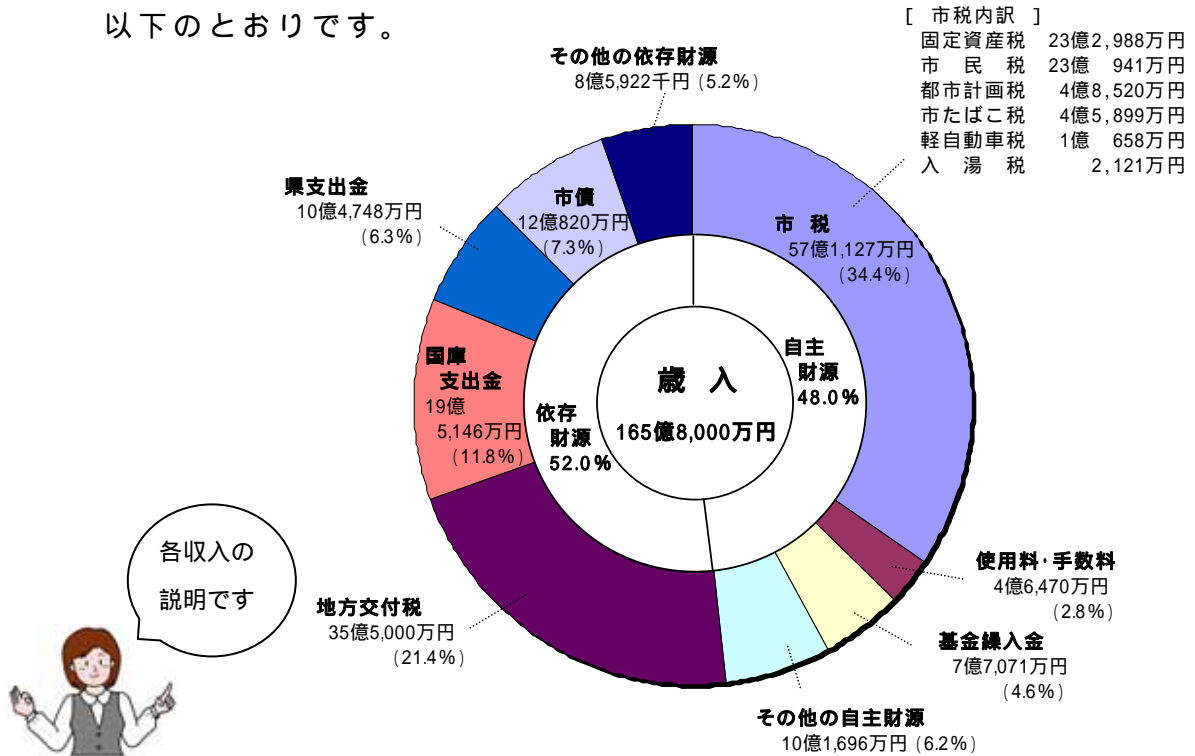


3 収入（歳入予算）の種類と金額について

歳入編

収入の種類と金額を教えてください？

A 一般会計の歳入予算額は以下のとおりです。



項目	説明	具体例
市税	皆さまから市に納めていただいた税金です。	9ページ参照
使用料 手数料	市の施設利用や証明書類の発行時にいただいているお金です。	公民館使用料 住民票発行手数料など
基金繰入金	基金（市の貯金）を取り崩すお金です。	財政調整基金繰入金など
その他の 自主財源	特定事業に必要な経費の一部を負担金として納めていただくお金などです。	保育園の保育料 がん検診徴収金など
地方交付税	全国の地方公共団体が、一定レベルの行政サービスが出来るよう国から交付されるお金です。	
国庫支出金 県支出金	特定事業の経費の一部として、国や千葉県から交付されるお金です。	児童手当負担金 選挙費用委託金など
市債	公共施設（道路や学校など）の建設や改修をする際に国や銀行などから借りるお金です。	
その他の 依存財源	皆さまが国や県に納めた税金の一部が、地方に譲与されるお金などです。	地方消費税交付金 地方譲与税など



自主財源・依存財源とはどういう意味なの？

A 自主財源とは、市が自主的に調達できる収入のことです。家計に例えると、給与や臨時収入、貯金の取崩しにあたります。

一方、依存財源とは、国・県から交付される収入や、市債（借金）収入などのことで、家計に例えると、親や親類などからの援助や、生活ローンにあたります。

自主財源の比率が高いほど、財政が安定し自主的な財政運営ができると言えます。

各団体の自主財源比率

館山市	…	48.0%
県内市平均	…	53.9%
県内類似団体（ ）平均	…	39.4%
南房総市	…	24.6%
鴨川市	…	34.3%

参考情報

類似団体の説明はP6を参照して下さい。

（館山市はH25予算、館山市以外の数値はH22決算数値を引用しています）



どうして借金（市債）をするの？

A 市では、道路や学校を整備（公共施設整備）するときに、国や銀行からお金を借りています。理由は大きく2つあります。

1点目に、公共施設の整備には、多額の費用がかかるため、1度に支出するには負担が大きいからです。借入により分割で返済することによって、その年の支出を少なくすることができ、他の事業にも取り組むことができるからです。家計に例えると住宅ローンにあたります。

2点目に、将来にわたり利用される公共施設は、整備した年に住んでいる人だけが負担するのではなく、将来住む人にもその借金の返済を負担していただくことで、市民の皆さまの負担を公平にできるためです。

15ページで、現在の市の借金（市債）残高や、貯金（基金）の状況について説明しています。
ご覧になって下さい。





市税収入について、詳しく教えてください。

- A 市民の皆さまが、直接館山市に納めていただく税金は、合計7種類あります。
詳しい説明は以下のとおりです。

項目	説明	種類
個人市民税	市民の皆さまから、給与などの所得を基準に納めていただく税金です。	普通税
法人市民税	市内に事業所などを有する会社が、収益などを基準に納めていただく税金です。	普通税
固定資産税	市内に土地・家屋および償却資産を所有している方が、その固定資産の価格をもとに算定される税額を納めていただく税金です。	普通税
市たばこ税	たばこの製造業者や卸売販売業者などが、市内の小売販売業者に売り渡した「たばこ」に対して課されるものです。皆さまが購入するたばこの代金の中に税金が含まれています。	普通税
軽自動車税	軽自動車や原動機付自転車などを所有している人に、納めていただく税金です。	普通税
都市計画税	都市計画法による都市計画区域内（館山市は市内全域が指定）にある土地・家屋に対してかかる税金です。	目的税
入湯税	鉱泉浴場における入浴に対し課税されます。	目的税

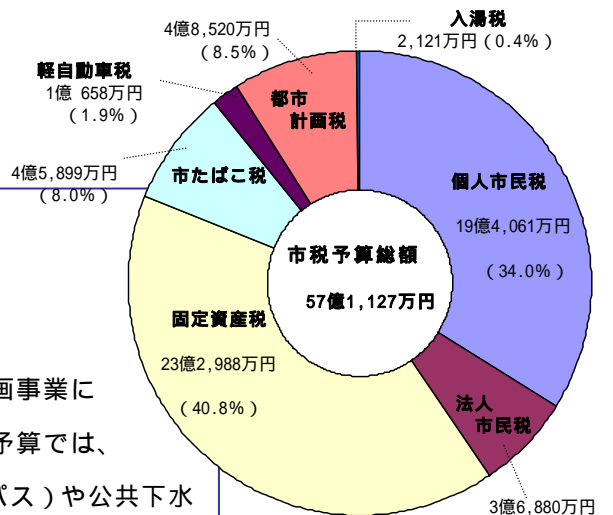


目的税の 使いみち

都市計画税と入湯税は目的税といわれ、
使いみちが定められている税金です。

都市計画税は、都市計画法に基づく都市計画事業に
要する費用に使うこととされ、平成25年度予算では、
船形館山港線道路整備事業（通称：船形バイパス）や公共下水
道整備事業、過去に実施した都市計画事業（館山駅西口地区土
地区画整理事業など）の市債返済費用などに充てられます。

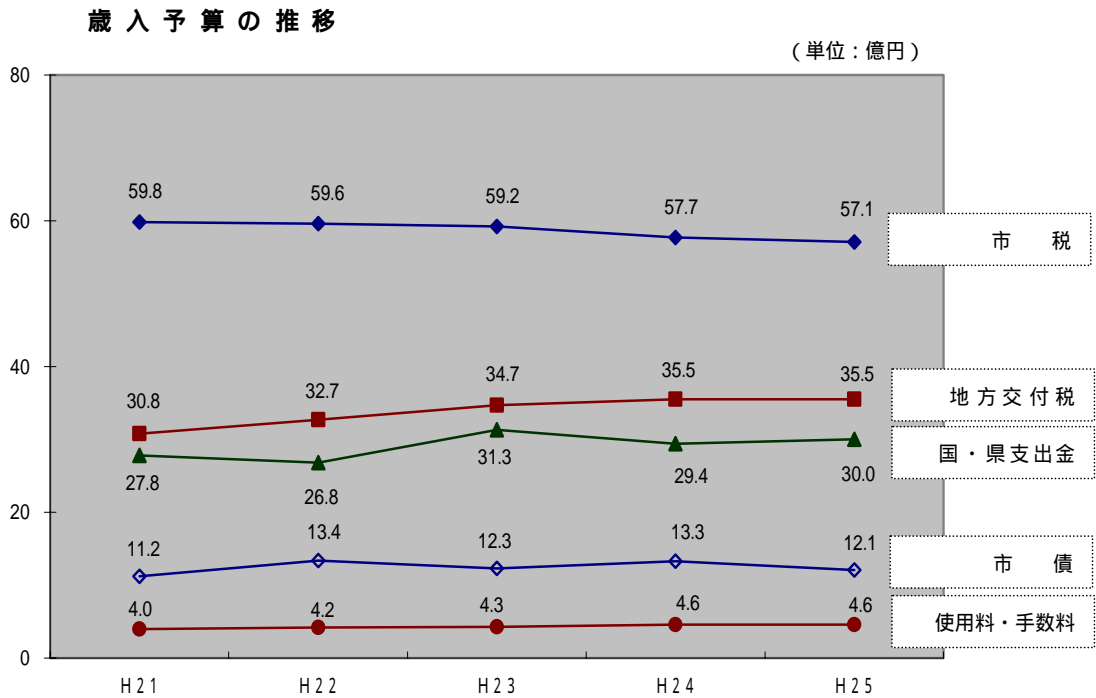
入湯税は、観光振興事業や消防施設整備などに要する費用に
使うこととされ、観光イベントや消防車両の購入費用などに充
てられます。





歳入予算の推移はどうなっているの？

A ここ5年間の当初予算における，市税予算や地方交付税などの推移は，以下のとおりです。



特徴と傾向を説明します



市税

歳入の根幹となる収入ですが、生産人口の減少や長引く景気低迷、市内大手企業の清算・撤退などにより近年減少し続けています。

地方交付税

国の交付税総額に左右され年度間の変動がありますが、交付税総額の増額や市税収入の減少などにより、近年増加傾向です。

国・県支出金

国の制度改正や市の実施事業に関連し、年度間の変動が大きくなりますが、国の経済対策や福祉関連経費（生活保護費や障害・介護費用など）の国・県負担金の増などにより、近年増加傾向です。

使用料・手数料

行財政改革による各公共施設使用料やし尿処理手数料の見直しなどにより、近年増加傾向です。



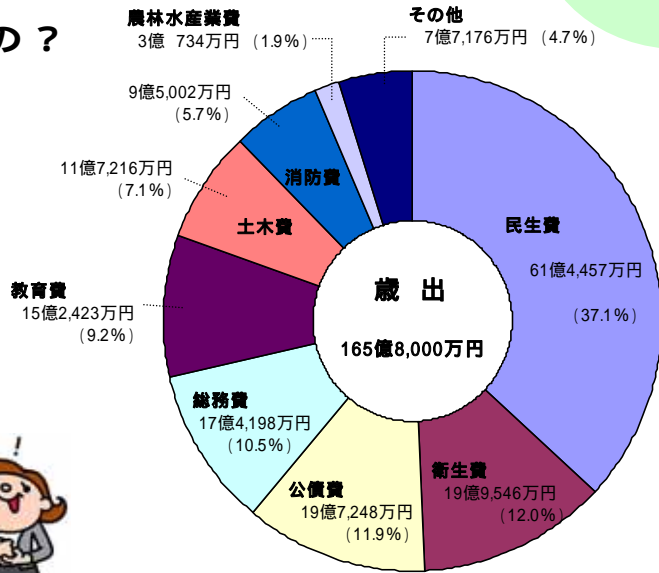
4 支出（歳出予算）の種類と金額について

歳出編

？ 予算はどんなことに使われるの？

A 歳出予算額は、福祉・土木・教育などの目的ごとにどれだけ使うのか定めています。

私たちの税金は、こんな目的に使われているのね！



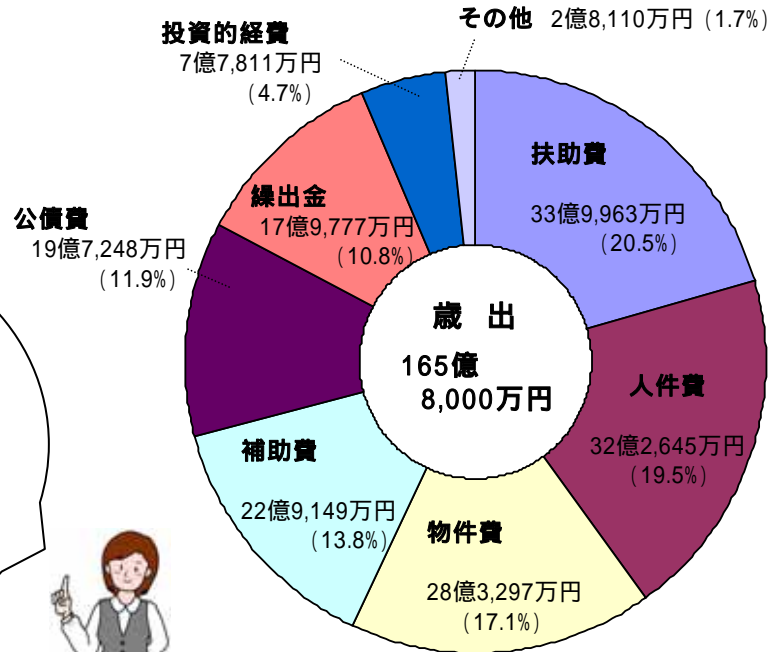
目的名称	具 体 例
民生費	福祉の推進のため (生活保護, 障害・介護, 子育て関連経費など)
衛生費	清掃関連(ごみ処理経費), 医療関連(予防接種など), 上水道整備費用など
公債費	市債借入金の返済費用(元金・利息)
総務費	防災関連(防災行政無線整備など), 地区コミュニティ費用・その他一般的な事務費用
教育費	教育(学校整備や給食事業など), 文化振興(博物館運営など), スポーツ振興など
土木費	道路・橋梁・河川整備や 下水道整備費用など
消防費	救急救命や消防活動事業など
農林水産費	農業・水産業の振興のため
その他	観光業・商工業の振興や 災害関連経費, 議会経費など










市職員の人件費は、どのくらいなの？

支出は前ページで説明した「目的別」のほか、使い方の「性質別」で表すことができます。

右図は、平成25年度「性質別」の予算額です。



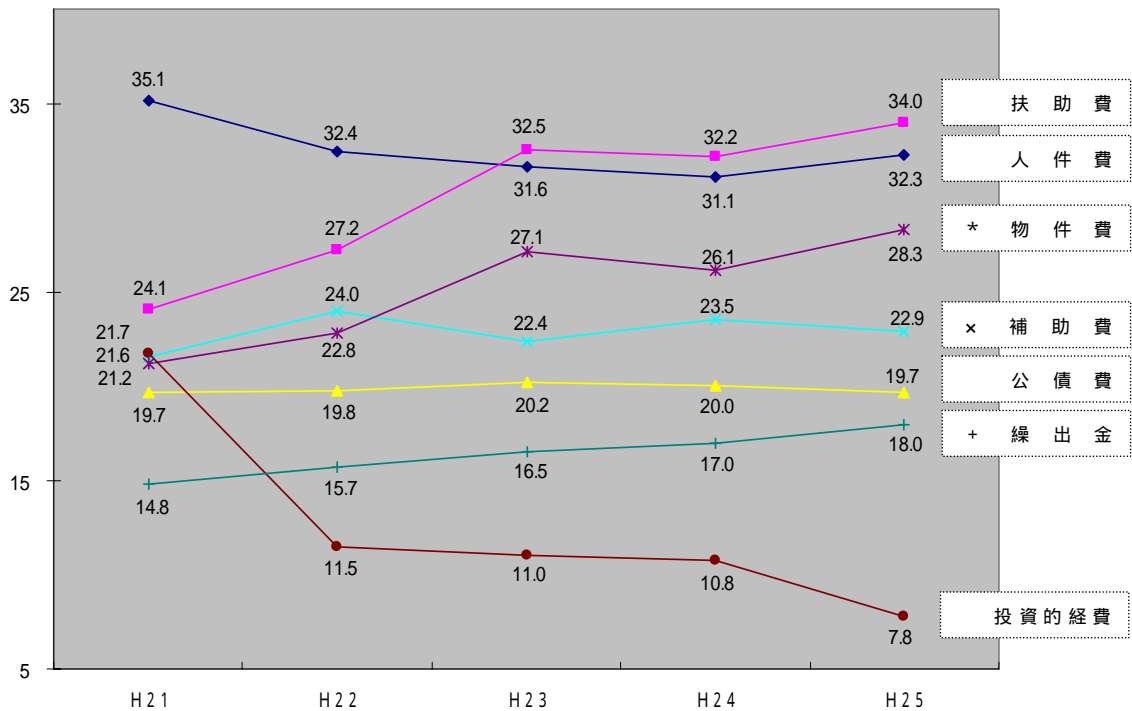
性質名称	説明・具体例
人件費	市長や市議会議員，市職員の給料・手当，各種委員や消防団員への報酬などの費用 
扶助費	生活困窮者や障害者，子育てなどの生活をサポートするための費用（生活保護費，障害者・乳幼児医療費，児童手当など） 
公債費	借金（市債）の返済費用（元金・利息） 
物件費	光熱水費，事務用機器のリース代，消耗品購入費，業務委託費用など消費的な性質をもつ経費や非常勤職員の賃金など 
補助費	各種団体活動への補助金（老人クラブ補助・観光団体補助など）や，各種連合組織への負担金（安房郡市広域市町村圏事務組合負担金）などの費用 
投資的経費	道路・学校などの公共施設の改修費用や施設の災害復旧費用など，将来も資産となって残るものに対する支出 
繰出金	特別会計（国保・介護など）の運営を補うため，一般会計から支出する経費 
その他	施設の維持補修費や他団体への貸付金・出資金など



歳出予算の推移はどうなっているの？

歳出予算の推移（性質別）

（単位：億円）



特徴と傾向を
説明します



人件費

職員数の削減や職員給与の減額（3～5%）、各種手当の削減などにより、毎年減少してきましたが、平成25年度は3年間の時限措置で削減していた一般職員の給与等の復元により約1億2千万円の増加となります。

扶助費

生活保護費や障害・介護などの福祉関係経費の増により、右肩上がりで増加し、平成23年度からは、性質別歳出額のなかで一番の多額となっています。

物件費

市の行財政改革により、市の事業を民間委託へ移行したことや国の経済対策に伴う雇用対策事業の増加などにより、近年増加傾向です。

繰出金

高齢者人口の増加などに伴う介護保険の給付費増加や景気低迷などによる国民健康保険税軽減世帯の増加などにより、毎年増額しています。

このように、年々増加する扶助費や繰出金などの社会保障関係経費を、人件費の削減で対処している状況が見て取れます。



5 予算を家計に例えてみました

家計簿

たてやま家

1ヶ月の家計簿

一般会計予算を家族の総収入
300万円(1ヶ月25万円)の
家計に例えて説明します。



給与収入は、年間
112万円となり
総収入の半分以下
となっています。

〈 収 入 〉

給与	9.3万円
〔 世帯主 給与 （市税収入） パート 収入 （使用料など） 〕	8.6万円 0.7万円
貯金の取崩し （基金繰入金）	1.2万円
親からの援助 （地方交付税や国県支出金など）	9.9万円
銀行からの借入	1.8万円
（ 合 計 ）	25.0万円

〈 支 出 〉

食費（人件費）	4.9万円
教育費・医療費（扶助費）	5.1万円
ローンの返済（公債費）	3.0万円
光熱水費・消耗品購入 （物件費）	4.3万円
地区会費やサークル活動費 （補助費）	3.5万円
家のリフォーム費用 （投資的経費）	1.2万円
子どもへ仕送り（繰入金）	2.7万円
（ 合 計 ）	25.0万円

たてやま家の家計簿からわかること

収入のうち約4割が、親からの援助に頼っており、不安定な家計状況であることが見て取れます。

また、ローンを毎月3.0万円返済する一方、新たな借入は1.8万円に抑え、借金残高を減らす努力をしています。

予算では、貯金の取崩しが月1.2万円ありますが、予算執行において、1年間様々な工夫を行い、貯金の取崩しを少しでも減らしていきます。



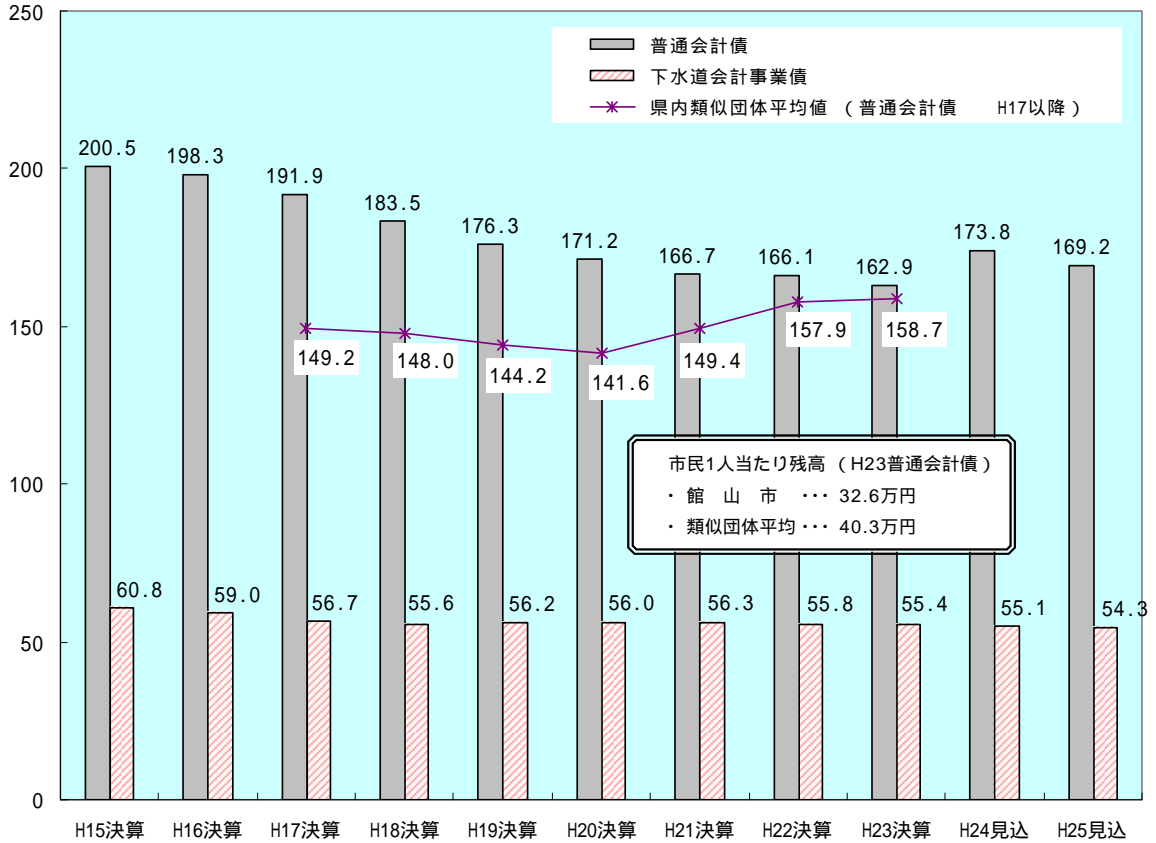
6 市の借金（市債残高）と貯金（基金残高）の状況

借入金
貯金

市の借金は、どのくらいあるの？

市債残高の推移及び県内類似団体との比較

(単位：億円)



市債には、財源確保の目的と、将来にわたって利用される公共施設（道路・下水道・教育施設など）の整備費用について、世代間の負担を調整する役割があります。

市の借入残高（普通会計債）は、平成15年度末の約200億円をピークに年々減少傾向でしたが、東日本大震災後に創設された財政負担の少ない市債の有効活用（学校耐震改修事業等）により、平成24年度末見込額が増加しています。

また、市民1人当たりの残高は、類似団体平均値よりも館山市の方が、少なくなっていることが分かります。館山市では、近年の低迷する経済情勢の中、将来の負担をできるだけ抑えることで、健全な財政運営が保てるよう新たな借入れを抑制してきたためです。

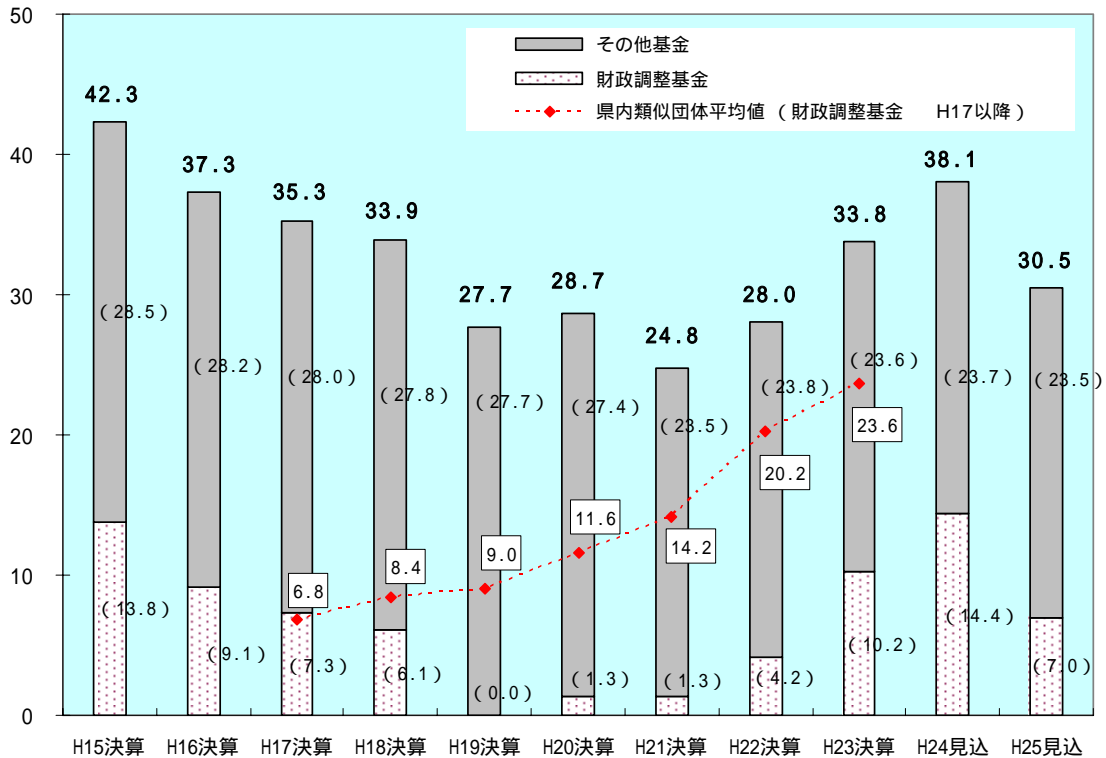


市債残高の
特徴と傾向

❓ 市の貯金は、どのくらいあるの？

基金残高の推移及び県内類似団体との比較

(単位：億円)



基金残高の特徴と傾向

市には、特定の目的のため積立てを行う基金や定額の資金を運用するための基金などがあります。基金の中でも、財政調整基金は、急激な税収の落ち込みや災害などの不測の事態に備えるためのものです。

館山市の財政調整基金は、平成15年度に約14億円の積立額がありましたが、地方交付税の削減などの影響により年々基金を取崩し、平成19年度決算では、128万円の残高まで落ち込みました。その後「行財政改革による効果」や地方交付税の増などにより積立てを行い、平成24年度末では14.4億円まで回復しました。

なお、県内類似団体平均の財政調整基金残高と比較すると、館山市の残高は少ないことが分かります。今後とも、行財政改革による歳出削減及び歳入増加を推進し、不測の事態に即応可能な適正な基金の保有に努めていきます。

市民1人当たり残高 (H23 財政調整基金)

- ・ 館山市 … 2.1万円
- ・ 類似団体平均 … 6.1万円

7 各種財政指標について

財 政 指 標



市の財政状況を表す指標は、
どんなものがあるの？

- A 各種財政指標は、自治体の財政状況を判断する目安です。
多くの指標は、その年の決算とともに作成されますので、直近の平成23年度
決算時点における、主なものをご紹介します。

財 政 力 指 数

自治体の財政力を示す数値です。数値の高い方が財政力の強い自治体であり、1.0を超える自治体は、市税など標準的な収入で標準的な行政サービス経費を全て賄える（＝地方交付税が不交付となる団体）団体です。

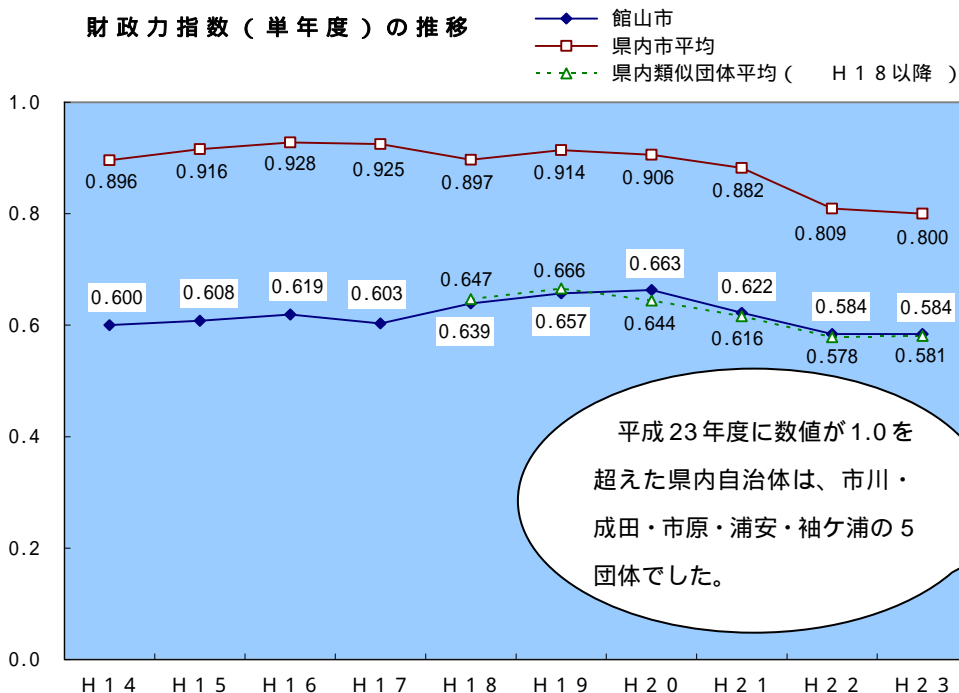
（算定式＝基準財政収入額 ÷ 基準財政需要額）

（館山市H23数値：0.584＝49億343万円 ÷ 83億8,913万円）

基準財政収入額・・・自治体が自由に使うことのできる収入額（一般財源）のことで、市税収入額の75%と、譲与税（地方消費税交付金など）などの税外収入の75%（一部100%）の合算額です。

基準財政需要額・・・標準的な行政活動を行うために必要な経費の金額です。人口や面積、道路や公園、公共施設数などにより、国の基準で算定した館山市の最低限必要な経費といえます。

財政力指数（単年度）の推移



経常収支比率

自治体の財政構造の弾力性（＝自治体が自由に使えるお金が多くあること）を示す指標で、自由に使える経常的な財源（市税などの一般財源）が、経常的に支出される経費（人件費・扶助費・公債費など）にどれだけ充てられたかを表します。

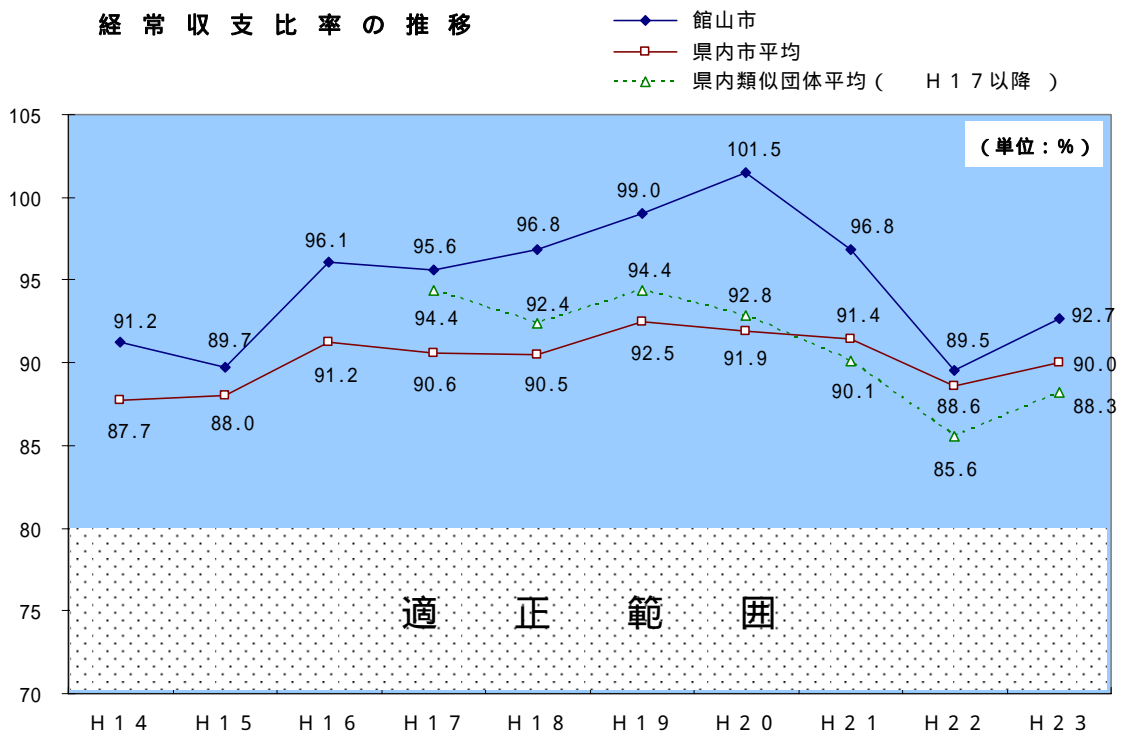
家計に例えると、食費・医療費・ローン返済費用など固定経費の支払が、毎月の給料に占める割合であり、数値が高いほど、家計（＝財政）のやり繰りが苦しいということになります。

（算定式＝経常経費一般財源 ÷ 経常一般財源）

（館山市 H23 数値：92.7% ＝ 101 億 2,855 万円 ÷ 109 億 2,649 万円）

望ましいとされている比率は、70～80%とされておりま

経常収支比率の推移



市では、市税などの経常的な収入の減少に加え、扶助費などの経常的な支出増加により、平成17年以降年々上昇し、平成20年度には100%を超過しました。

その後、給与の減額などの人件費削減や地方交付税の増加などにより、比率が下がりました。



財政健全化判断比率

平成 19 年に自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、「自治体財政健全化法」が成立し、財政の健全化を判断する 4 つの指標の公表が、義務付けされました。

各指標には、国の定める基準があり、基準値を超える団体は財政健全化計画などを作成し、その計画に沿った運営を行うこととなります。

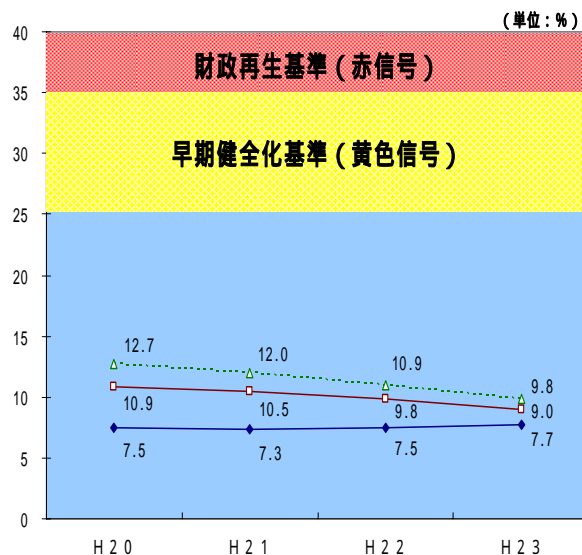
(単位：%)

4 つの指標	市数値 (H23)	国の定める基準		説明
		早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)	
実質赤字比率	-	13.22	20.0	普通会計の赤字の程度を表す指標
連結実質赤字比率	-	18.22	35.0	すべての会計を合算した市全体の赤字の程度を表す指標 (市全体の財政運営の深刻度を示す)
実質公債費比率	7.7	25.0	35.0	借入金の返済額などが財政に及ぼす負担を表す指標 (資金繰りの危険度を示す)
将来負担比率	79.1	350.0	-	借入金残高や将来支払いの可能性のある負担などを、現時点で表す指標 (将来の財政運営の危険度を示す)

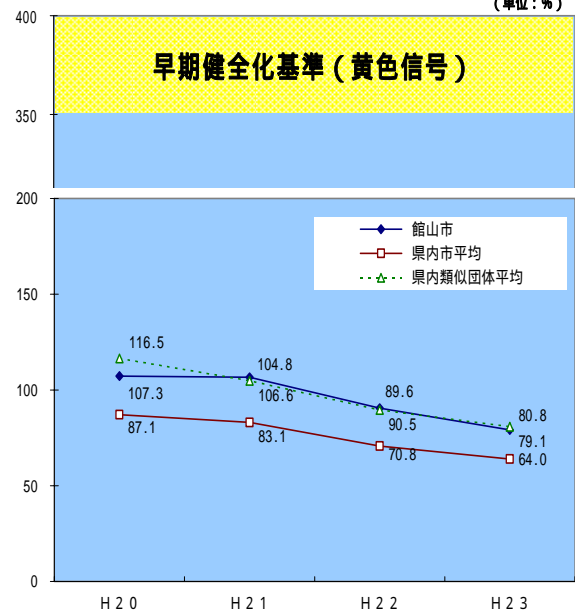
実質赤字比率・連結実質赤字比率は、赤字額がない(黒字)ため「-」で表示しています。

実質公債費比率の推移

- ◆ 館山市
- 県内市平均
- △ 県内類似団体平均



将来負担比率の推移



いずれの指標も、国の定めた基準を大幅に下回っており、県内平均値とほぼ同水準となっています。



8 行財政改革の取組みについて

行財政
改革

❓ 行財政改革とは？なぜ取組みが必要なの？

A 現在，長引く景気低迷や高齢化社会に伴う生産人口の減少などにより国，地方ともに厳しい財政状況が続いています。



館山市においても，市税収入が毎年減少し続けるなか，生活保護費をはじめ，国民健康保険特別会計や介護保険特別会計への一般会計からの繰入金など社会福祉関連経費への支出が急激に増加しており，厳しい財政運営となっています。

その一方，市民の皆さまからの要望・ニーズは，ますます複雑・多様化しており，それらの新たな市民ニーズに対しても迅速かつ的確に対応する必要があります。

単年度の支出が収入を上回り，基金からの繰入金（貯金の取崩し）にて財源不足を補う財政状況では，貯金がある間は現行の行政サービスの水準を維持できますが，貯金が無くなったあとは，極端な行政サービスの低下や道路などのインフラ整備，経済活性化策などの投資的な事業も実施できなくなってしまいます。

そのため，各事業の見直しによる支出削減や行政サービスを受ける人に応分の負担を求めるなどの収入増加策などにより，財政収支の均衡（収入に見合った支出となるような財政運営）を目指すために行財政改革が必要なのです。

**「最少の経費で
最大の効果
を目指します！」**





これまでの取組み内容とその結果は？

館山市行財政改革プラン

(平成17～21年度)における主な取組結果

〈 歳入増加策 〉

- ・ 利用目的のない市有地の売却
3億4,734万円
- ・ 適正、公平な受益者負担とするための
使用料・手数料の見直し
(ごみ処理手数料の改定など)
2,430万円
- ・ 滞納処分の強化による市税徴収率
の向上
1,165万円
- ・ 下水道接続率の向上
1,542万円

〈 歳出削減策 〉

- ・ 人件費削減 5億4,710万円
(職員数5ヵ年で47人削減)
(給料・各種手当の削減)
(特別職給与の削減)など
- ・ 一部事務組合(安房郡市広域市町村圏
事務組合や三芳水道企業団)に対する補
助金などの削減 1億627万円
- ・ 各種団体への補助金削減
1,355万円
- ・ 配食サービス事業における委託内容
等の見直し 1,380万円
- ・ 敬老祝金の引下げや高齢者
デイサービス事業の廃止 860万円

財政効果額は5ヵ年
合計で約11億円、累積
では約26億円となりま
した。



現在の主な取組み状況(平成22～23年度決算)

〈 歳入増加策 〉

- ・ 市有財産の売却 4,340万円
(副市長公舎など)
- ・ 公共施設の使用料改定 556万円
(コミュニティセンター・市民運動
場などの使用料単価の増額や、光
熱水費などの実費徴収など)

〈 歳出削減策 〉

- ・ 人件費削減 4億1,199万円
(職員数5人削減)
(給料3～5%削減,
各種手当の廃止・削減)など
- ・ 短期人間ドックの補助金引き下げ
625万円
- ・ 生活排水処理施設の休止 602万円
- ・ 市大型バスの運営方法の見直し
448万円

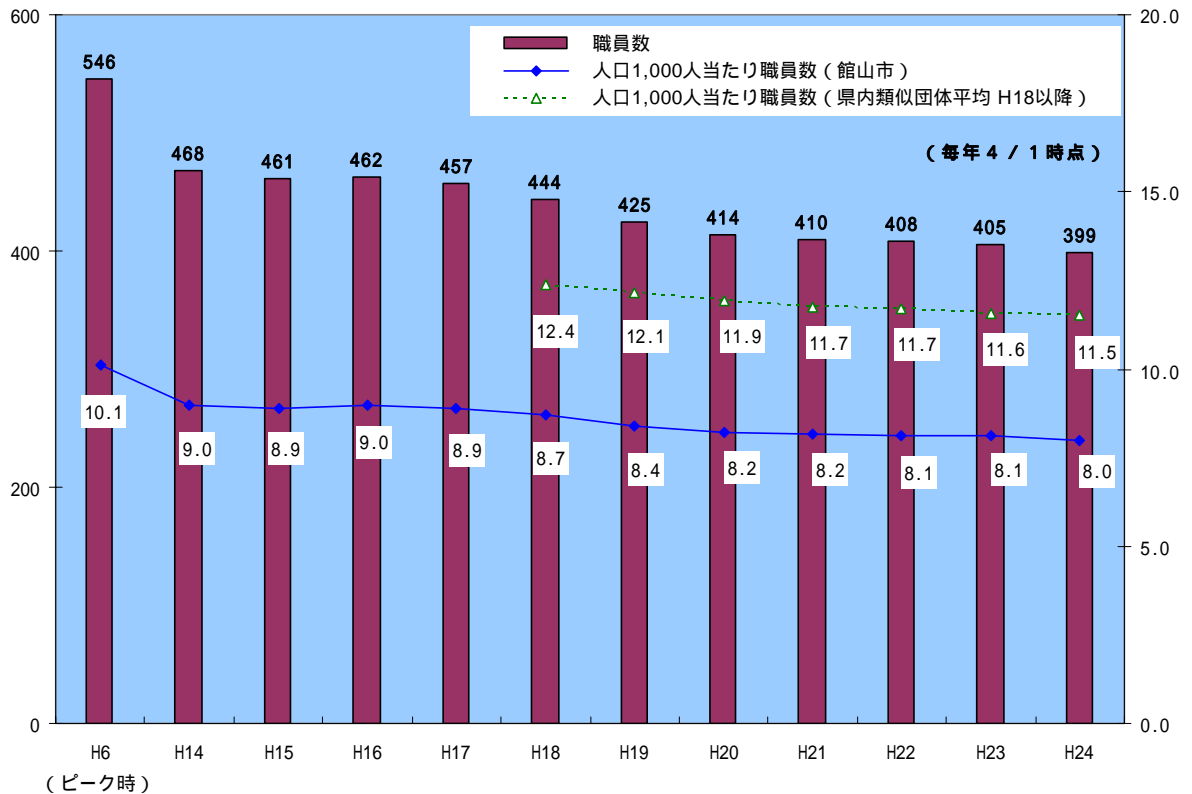
今後も、「各種施設の
効率的運営・統廃合・民
営化」などについて取組
んでいきます。





人件費の削減が大きいけど、 市職員数はどのくらい減らしてきたの？

市職員数の推移



職員数は、退職者の不補充や業務委託を推進したことなどにより、年々減少しています。ピーク時の平成6年度と比較すると147名(26.9%)の減員となっています。

また、県内類似団体と人口1,000人当たりの職員数を比較すると、館山市の職員数は非常に少なくなっていることが分かります。

職員数が少ないことは、人件費に係る支出が減ることとなり、扶助費などの他の行政サービスへ支出することが可能となります。

一方で、職員のマンパワー不足により、きめ細かな行政サービス水準を維持できるのかとのお意見もあるかと思いますが、市では、「最少の経費で最大の効果を挙げる」ことを目標に、今後とも職員一体となり職員の資質の向上を図り、住みよいまちづくりのため努力していきます。



平成25年度 主な事業と予算額

「活力あるふるさと館山」の実現に向け

ここからは、館山市が平成25年度に取組む主な事業を説明します。

市の全事業を掲載することは出来ないため、主な事業を抽出して掲載しています。

表の見方は、以下のとおりです。

事業名称と事業実施の担当部署を記載しています。平成25年度から取組む新規事業は、[新規]と表記しています。



[新規]		事業 (課)	
事業費		XXX万円	
財源	国	XXX万円	
	県	XXX万円	
	市債	XXX万円	
	他	XXX万円	
	市	XXX万円	
事業内容の説明			

事業実施にあたり、なんのお金をもと(財源)にして、事業を行うかを表しています。

- 国 国が負担する金額
- 県 県が負担する金額
- 市債 市の借金によるもの
- 他 利用者などの負担によるもの
- 市 市が負担(市民の税金などの一般財源)

『健康で安心して暮らすことのできる
まちづくり』のため



防災行政無線整備事業（社会安全課）

事業費	2,631万円		
財源	国		
	県		
	市債	1,830万円	
	他		801万円

デジタル防災行政無線の新設（3基）・更新（2基）や既存防災行政無線の保守・修繕工事を行い、災害時における情報連絡体制及び救援体制などの確保を図ります。

防災行政無線設置基数
125基（平成24年度末）



防災ラジオ配布事業（社会安全課）

事業費	350万円		
財源	国		
	県	250万円	
	市債		100万円
	他		

災害に関する情報提供のため、屋内外で防災行政無線が受信できる防災ラジオの有償配布を行います。

平成25年度
配布予定台数500台
平成24年度
配布台数 2,100台



安全安心情報配信業務委託事業（社会安全課）

事業費	126万円		
財源	国		
	県		
	市債		12万円
	他		114万円

安全・安心メールにより、防犯・防災・消防などの緊急情報を市民へ提供し、安全安心なまちづくりを推進します。

登録者数 12,586人
（平成25年3月末時点）



自主防災促進事業（社会安全課）

事業費	504万円	
財源	国	
	県	7万円
	市債	
	他	36万円
	市	461万円

自主防災組織が行う防災機材の購入や非常食の備蓄などに補助し、自主防災組織の充実を図ります。

補助対象：自主防災会
 補助金額：
 （施設の整備）限度額 100万円
 （備品購入）限度額 20万円



安房都市広域市町村圏事務組合 常備消防費負担金（社会安全課）

事業費	8億2,198万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市

常備の広域消防体制の整備充実を図るため、安房都市広域市町村圏事務組合が行う消防や救急事業についての館山市負担金を支出します。



[新規] 消防救急デジタル無線整備事業（社会安全課）

事業費	252万円	
財源	国	
	県	42万円
	市債	
	他	
	市	210万円

安房都市消防本部・館山消防署の消防救急無線のデジタル化に伴い、消防団が使用するデジタル無線機の整備を図ります。

平成25年度
 整備台数：12台



消防団施設・機材整備事業（社会安全課）

事業費	3,906万円	
財源	国	709万円
	県	431万円
	市債	2,220万円
	他	
	市	546万円

老朽化した消防団車両の更新（1台）や消防団詰所の改築（1箇所）を行い、消防力の充実・強化を図ります。

- ・消防ポンプ車
5分団12部（宮城地区）
- ・消防詰所改築
9分団26部（九重地区）





福祉・医療
子育て編

障害者自立支援事業（社会福祉課）

事業費	7億1,410万円
財源	国 3億5,656万円
	県 1億7,749万円
	市債
	他
	市 1億8,005万円

障害者などへ、適切な介護支援や身体機能・生活能力向上に必要な訓練などを行うことにより、地域生活を営むための支援を行います。

障害福祉サービス
利用見込人数 実350人



高齢者福祉団体補助事業（高齢者福祉課）

事業費	1,266万円
財源	国
	県 226万円
	市債
	他 32万円
	市 1,008万円

老人クラブや館山市シルバー人材センターを支援するため、活動費や運営費を補助し、高齢者福祉の向上を図ります。



生活保護事業（社会福祉課）

事業費	11億4,443万円
財源	国 8億5,832万円
	県
	市債
	他 4,542万円
	市 2億4,069万円

生活困窮者に対して生活保護法を適用し、最低限度の生活を保障する保護費の給付を行うとともに、生活指導による自立助長を図ります。

[生活保護適用]
527世帯 639人
(平成25年3月末時点)



安房郡市広域市町村圏事務組合 保健衛生費負担金（健康課）

事業費	5,117万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市 5,117万円

地域住民の生命と健康を守るため、安房郡市広域市町村圏事務組合へ救急医療に関する保健衛生費を負担し、救急医療体制の確保・充実を図ります。

[主な内容]
病院群輪番制病院運営事業
土曜午後・日曜休日昼間・毎夜間
の病院運営事業を実施



安房地域医療センター救急医療事業運営費補助金 (健康課)

事業費	4,303万円			
財源	国			
	県			
	市債			
	他			
	市			4,303万円

救急医療体制の充実を図るため、二次救急医療の基幹病院である安房地域医療センターが行う、救急医療の運営費へ補助を行います。



[新規] 未熟児養育医療給付費 (健康課)

事業費	326万円			
財源	国	163万円		
	県	81万円		
	市債			
	他	14万円		
	市	68万円		

未熟児(2,500g未満)の生命保護及び健康増進を図るため、出生後の入院医療費(自己負担分)に対する給付を行うとともに、保健師による訪問指導を行います。



健康診断・予防接種事業

(健康課)

事業費	1億8,543万円			
財源	国	177万円		
	県	183万円		
	市債			
	他	1,309万円		
	市	1億6,874万円		

乳幼児・学童・高齢者の疾病予防のため、各種予防接種やがん検診などを実施します。

[主な内容]

- ・ 高齢者インフルエンザ
- ・ 四種混合 ・ 子宮頸がん
- ・ 各種がん検診 など



病児・病後児保育事業

(こども課)

事業費	805万円			
財源	国			
	県	537万円		
	市債			
	他	100万円		
	市	168万円		

児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育及び保護者による保育が困難な場合に一時的に預かり、保護者の子育てと就労等の両立を支援します。

[受入施設]

亀田ファミリークリニック館山



元気な広場運営事業

(こども課)

事業費	1,501万円	
財源	国	467万円
	県	
	市債	
	他	
	市	1,034万円

子育て中の親子の交流、子育て講座、育児相談、情報提供やシニア世代との交流を通じ、子育てへの不安解消、児童虐待防止の推進を図ります。

[元気な広場利用者数]
平成24年度
延 34,810人



子ども医療費給付金

(こども課)

事業費	8,906万円	
財源	国	
	県	4,453万円
	市債	
	他	
	市	4,453万円

子どもの保険診療に係る費用へ助成を行います。

- ・ 小学校3年生まで(通院・入院分)
- ・ 中学校3年生まで(入院分)

[保護者負担額]
入院1日につき300円
通院1回につき300円
調剤は無料



児童手当支給事業

(こども課)

事業費	6億4,315万円	
財源	国	4億4,490万円
	県	9,912万円
	市債	
	他	
	市	9,913万円

中学校修了前までの児童を養育する保護者を対象に手当を支給し、子育てに係る経済的な負担を軽減します。

[児童手当額]
月額 10,000円～15,000円



東日本大震災避難者支援事業

(社会福祉課)

事業費	348万円	
財源	国	
	県	348万円
	市債	
	他	
	市	

東日本大震災による市内避難者に対し、各種サービス(民間賃貸住宅借上げによる応急仮設住宅の提供・生活支援情報の提供・相談業務等)を提供し、避難者の生活の安定を図ります。

市内避難者数: 22世帯53名
(平成25年3月末現在)





環 境 ・
衛 生 編

水質検査等委託事業

(環境課)

事業費	171万円
-----	-------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	171万円

市民の健康を守るとともに快適な生活環境を保全するため、環境汚染物質の調査・測定を実施し監視に努めます。

[主な内容]

- ・ 地下水水質検査 (市内11箇所)
- ・ 河川水質検査 (市内3河川) など



住宅太陽光発電システム設置費補助金

(環境課)

事業費	410万円
-----	-------

財源	国	
	県	210万円
	市債	
	他	
	市	200万円

地球温暖化対策を促進するため、住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し補助金を交付します。

補助対象：設置者 (個人)

補助金額：1kw当たり2万円
上限8万円



安房都市広域市町村圏事務組合 ゴミ処理広域化推進費負担金

(環境課)

事業費	3,981万円
-----	---------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	3,981万円

安房都市広域市町村圏事務組合が推進している、ゴミ処理広域化事業の館山市負担金を支出します。

[ゴミ処理広域化事業]

ゴミ焼却施設の老朽化により、中間処理 (ゴミ焼却等) 施設及び最終処分場の整備を行う事業です。



ゴミ再資源化事業

(環境課)

事業費	1億6,879万円
-----	-----------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	100万円
	市	1億6,779万円

ゴミの分別による再資源化を促進し、燃やせるゴミの減量化を図ります。

[再資源化対象]

金属類・ガラス類・白色トレイ
プラスチック製容器包装
ペットボトル・古紙類など



道路新設改良事業

(建設課)

事業費	1億8,529万円		
財源	国	630万円	
	県		
	市債	1億5,400万円	
	他		
	市	2,499万円	

生活環境及び道路機能の維持向上を図るため、市道の改良などに伴う測量・調査・設計並びに道路改良・排水整備・道路舗装の整備を行います。

[主な内容]

- 道路改良工事 5路線
- 道路排水整備工事 19路線
- 道路舗装補修工事 6路線



橋梁整備事業

(建設課)

事業費	1,000万円		
財源	国	531万円	
	県		
	市債	390万円	
	他		
	市	79万円	

市道にある橋梁の適正な維持管理のため、維持補修工事を行います。

[工事箇所]

- ・ 館山大橋橋梁補修工事
(正木・湊地内)

平成25年度 補修設計

平成26～27年度 補修工事



船形芝2号排水路整備事業

(都市計画課)

事業費	514万円		
財源	国		
	県		
	市債	380万円	
	他		
	市	134万円	

大雨時の溢水による被害解消のため、排水路の改修のための設計業務を行います。

[工事箇所]

- ・ 船形地区
平成25年度 設計業務
平成26年度以降 改修工事



交通安全施設整備事業

(社会安全課)

事業費	960万円		
財源	国		
	県		
	市債		
	他		
	市	960万円	

市道での交通危険箇所における安全施設等を整備し、交通事故の防止を図ります。

[主な整備内容]

- ・ 道路反射鏡
- ・ 防護柵
- ・ 道路照明





教育編

学校耐震診断・改修事業 (教育総務課)

事業費	4,297万円		
財源	国		
	県		
	市債	1,640万円	
	他		
	市	2,657万円	

児童生徒の安全対策のため、学校の耐震診断(判定業務)及び耐震改修(設計業務)を行います。

[耐震診断]

館山・神戸・九重小学校
第三中学校

[耐震改修]

館山・豊房小学校



[新規] いじめ相談室設置事業 (学校教育課)

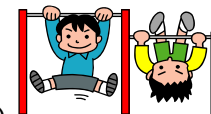
事業費	206万円		
財源	国		
	県		
	市債		
	他		
	市	206万円	

「いじめ相談室」に「いじめ問題アドバイザー」を配置し、小中学校のいじめに関する電話・訪問相談に対応し、早期発見・早期解決を図ります。

[いじめ相談室概要]

場所：コミュニティセンター

対応日：月～金(10:00～18:00)



[新規] 児童生徒心理検査事業 (学校教育課)

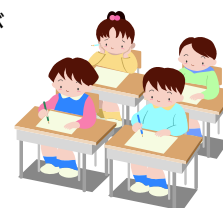
事業費	147万円		
財源	国		
	県		
	市債		
	他		
	市	147万円	

児童生徒を対象とした心理テスト(Q-Uテスト)を実施し、いじめ被害を受けている児童生徒の早期発見や学級状態の現状把握及び問題点の解決を図ります。

[実施対象]

小学校(4～6年生)

中学校(全学年)



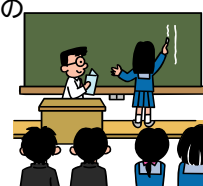
[新規] 電子黒板整備事業 (教育総務課)

事業費	1,129万円		
財源	国		
	県	789万円	
	市債		
	他		
	市	340万円	

生徒の学力向上を図るため、各中学校へ電子黒板を配備します。また、ICT支援員を配置し、操作指導や授業支援を行い、電子黒板の効果的な活用を図ります。

[配備台数]

各中学校1台(合計4台)



『 経済活性化によるまちづくり 』 のため



地域おこし協力隊事業 (農水産課)

事業費 1,597万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,597万円

担い手の不足する農村集落において、都市部など地域外の人材を積極的に活用し、農作業や地域活動に従事してもらい、その定住・定着を図ることで、農村集落の地域力の維持・強化を図ります。



(隊員 4 名委嘱)

有害鳥獣対策事業 (農水産課)

事業費 2,226万円

財源	国	
	県	1,866万円
	市債	
	他	
	市	360万円

鳥獣による農作物の被害を抑えるため、鳥獣の捕獲事業及び防護柵の設置について支援を行うとともに、広範囲(集落単位)での効果的な対策を実施します。

[主な内容]

- ・ イノシシ捕獲の報奨制度
- ・ 防護柵設置に係る費用支援



地産地消連携強化推進事業 (農水産課)

事業費 511万円

財源	国	
	県	511万円
	市債	
	他	
	市	

農水産品の供給者・販売推進店・消費者の三者間のネットワークを充実強化することで、更なる地産地消推進を図ります。

[主な内容]

- ・ 直売所出荷状況等の調査
- 消費者向け P R
- ・ 「ダッペエ」シールでの産地明示化 など



[新規] 耕作放棄地対策事業 (農業委員会・農水産課)

事業費 1,708万円

財源	国	
	県	1,708万円
	市債	
	他	
	市	

耕作放棄地の発生防止及び解消のため、今後の農業経営の意向調査などの実施や、耕作放棄地の再生活用を促進するため、農作物の実証栽培のモデル事業を実施します。



稚貝放流事業補助金 (農水産課)

事業費 295万円

財源	国	
	県	75万円
	市債	
	他	
	市	220万円

市内5漁業協同組合が実施する磯根資源(さざえ、あわび)の保護・繁殖のための稚貝放流事業に対し補助を行い、沿岸漁業の振興と漁家経営の安定を図ります。



市営漁港管理事業 (農水産課)

事業費 1,009万円

財源	国	
	県	
	市債	370万円
	他	
	市	639万円

漁船航行の安全性の確保や漁港機能の維持を図るため、漁港の泊地に堆積した土砂の撤去や施設の老朽化などの補修工事を実施します。

[工事箇所]

- ・ 栄の浦漁港 防波堤修繕
- ・ 波左間漁港 浚渫工 外



定住・移住促進事業 (商工観光課)

事業費 443万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	443万円

都市部からの移住希望者に対し相談業務などの移住支援を行い、定住者を増やすことで地域経済の活性化を図ります。



中小企業融資事業 (商工観光課)

事業費 7,015万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	5,700万円
	市	1,315万円

館山市中小企業融資等の借入れを行った中小企業者に対して、保証料及び利子の一部を補給します。



[主な内容]

- ・ 小規模事業者経営改善資金利子補給金
- ・ 中小企業融資利子補給金 外

[新規] まちなか再生支援事業

(商工観光課)

事業費	826万円
-----	-------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	551万円
	市	275万円

地域活力の衰退などの課題を抱える「まちなか」において、大学と連携し学生の実践ワークショップや二地域居住のモデル実験を行い、「まちなか」の再生維持方策の検討を行います。



対象：長須賀地区

観光振興事業

(商工観光課)

事業費	2,250万円
-----	---------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	1,100万円
	市	1,150万円

観光客誘致のための宣伝や受入体制の強化、着地型旅行などの推進を図ります。

[主な内容]

- ・ 教育旅行を中心とした体験観光の推進を図ります。
- ・ 観光振興に資する事業を行う団体へ補助を行います。



観光施設整備事業

(商工観光課)

事業費	3,472万円
-----	---------

財源	国	1,968万円
	県	
	市債	990万円
	他	
	市	514万円

来訪者が快適に観光地めぐりができるよう、公衆トイレの改修や案内看板の整備を進めます。

- ・ トイレ改修：
波左間地区
- ・ 案内看板整備：
市内20箇所



[新規] 海ほたる生態調査事業

(みなとまちづくり課)

事業費	60万円
-----	------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	60万円
	市	

館山湾の自然・魅力PRのためウミホタル観察会及び館山湾のウミホタル生態調査を実施します。

- ・ 観察会 (7月～9月)
- ・ 生態調査 (年3回程度)



館山港整備事業 (みなとまちづくり課)

事業費	915万円		
財源	国		
	県		
	市債	600万円	
	他		
	市	315万円	

千葉県が実施する宮城地区の臨港道路舗装補修工事や、館山夕日栈橋への小型船舶接岸を目的とした係留栈橋整備にかかる設計費用の一部を負担します。



稲村城跡保存管理計画策定事業 (生涯学習課)

事業費	104万円		
財源	国		
	県		
	市債		
	他		
	市	104万円	

国史跡に指定された「里見氏城跡 稲村城跡」の保存管理計画策定委員会を設置し、史跡の保存管理・整備活用の基本方針及び構想を策定します。



雇 用 ・
経 済 対 策 編

緊急雇用創出事業 (商工観光課 他7部署 10事業)

事業費	1億2,505万円		
財源	国		
	県	1億2,504万円	
	市債		
	他	1万円	
	市		

「緊急雇用創出事業補助金」を活用し、離職を余儀なくされた方に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会の創出を図ります。

[雇用予定人数 40名]



[新規] 緊急雇用促進助成金 (商工観光課)

事業費	1,000万円		
財源	国		
	県	550万円	
	市債		
	他		
	市	450万円	

自らの意思によらずに離職した人を6カ月以上常用雇用した中小企業者に助成を行い、雇用促進を図ります。

助 成 額 : 被雇用者一人当り20万円

雇用開始期間 : 平成24年11月1日

~平成26年3月31日

[新規] 起業支援補助金 (商工観光課)

事業費	850万円
-----	-------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	850万円

市内で起業する者や新規分野において事業開始を行う法人に対し、事業を起こすために必要な経費の一部に補助を行います。

事業所開設経費補助

上限：50万円 補助率：1/2

事業所等賃借経費補助

上限：月額5万円(12カ月まで) 補助率：1/2

住宅リフォーム補助事業 (都市計画課)

事業費	2,000万円
-----	---------

財源	国	1,000万円
	県	
	市債	
	他	
	市	1,000万円

市民の住環境の充実、耐震化の推進及び経済活性化対策としてリフォーム補助事業を行います。

補助対象：

市内に在する住宅で、市内業者が施工する
20万円以上の住宅リフォーム工事

補助額：対象工事費の10%

限度額：20万円



『 財政の健全化と安定 』 のため

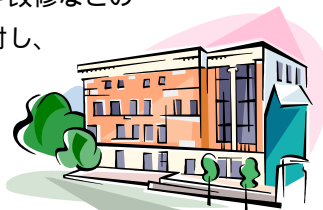


[新規] 公共施設省エネ推進事業 (行革財政課)

事業費	500万円
-----	-------

財源	国	
	県	500万円
	市債	
	他	
	市	

公共施設における光熱水費等の使用状況を調査し、設備等の運用改善や改修などの省エネルギー対策を検討し、今後の経常経費の削減に繋がります。



人件費の削減 (総務課)

事業費	-万円
-----	-----

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	

給料及び各種手当の減額等により総額 2,512万円の人件費削減を図ります。

- ・ 特別職等 総額 391万円の削減
給料月額 市長・副市長・教育長 10% 削減
- ・ 一般職 総額 2,121万円の削減
管理職手当 年額 12万円～6万円減額
時間外手当 総額 1,829万円の削減



[新規] ごみ処理手数料の見直し (環境課)

事業費	-万円
-----	-----

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	

ごみ処理手数料の適正化を図るため、新たに粗大ごみ収集を有料化します。

平成25年4月1日から
粗大ごみ1品 500円
(歳入増額 100万円)



平成24年度補正予算（H25.1～3月）

に計上した主な事業

本来、平成25年度予算に計上を予定していた事業のなかで、国の経済対策に伴う補助を受け平成24年度補正予算へ前倒した事業が多々あります。その一部を説明します。

なお、事業は平成25年度へ繰越して実施することとなります。



小学校耐震改修事業（教育総務課）

事業費	9億7,505万円		
財源	国	3億2,391万円	
	県		
	市債	6億5,480万円	
	他		
	市	366万円	

児童生徒の安全対策のため、学校の耐震補強や大規模改修工事を行います。

- ・北条小学校
（中央棟・低学年棟）
- ・館山小学校（北棟）
- ・西岬小学校（西棟）
- ・館野小学校（幼稚園舎）



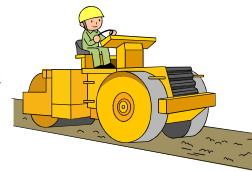
道路舗装補修事業（建設課）

事業費	1億9,550万円		
財源	国	1億560万円	
	県		
	市債	8,640万円	
	他		
	市	350万円	

市道の路面劣化が著しい区間の舗装補修工事の実施やトンネル点検調査などを行います。

[主な内容]

- ・道路舗装補修工事 17路線
- ・トンネル点検調査 6箇所

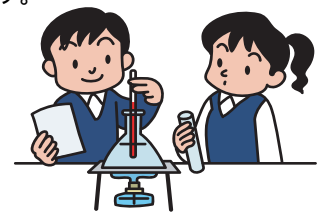


理科教育設備整備事業（教育総務課）

事業費	794万円		
財源	国	397万円	
	県		
	市債		
	他		
	市	397万円	

小中学校で使用する理科教育に必要な備品を購入します。

- 小学校 374万円
- 中学校 420万円



最後まで読んでいただき
ありがとうございました。

今年度、市が取り組む事業内容や、皆さまからの税金の
使われ方などが、わかっていただけましたでしょうか？

次回は、平成24年度の『決算（各種行政サービスの結果）』
を元にした『館山市の台所事情』を秋ごろに作成しますのでご
覧になって下さい。

最後に、今回の『館山市の家計簿』で
“分かりにくかったこと” “もっと知りたいこと”
などありましたら、気軽にご意見・ご質問をいただくと、
次回以降の改善に役立ちます。

みなさまからのご意見をお待ちしております。





館山市マスコットキャラクター

2010 studio crocodile・館山市

本名	ダッペエ
分類	イヌ（雑種）
由来	房総の方言「～だっぺ！」が名前の由来。
口癖	「ワンワン」ではなく「ベエベエ」と吠える。 喋る時は語尾に必ず「っぺ！」がつく。
家系	里見八犬伝の犬「八房（やつふさ）」の親戚の末裔（まつえい）の知り合いの親戚。
性格	おおらかで適当。房州育ちであれば骨が1本足りない。

オフィシャルホームページ <http://dappee.com/>

館山市の家計簿

（平成25年度当初予算版）

平成25年4月作成

館山市総務部行革財政課

T E L 0470-22-3291

F A X 0470-23-3115

E-Mail gyouzai@city.tateyama.chiba.jp